

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	ナノマテリアルの有害性等調査事業		担当部局庁	厚生労働省 労働基準局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	安全衛生部 化学物質対策課		半田 有通	
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		施策名	Ⅱ-2-2 労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する。			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	現在、ナノマテリアルの労働者への生態影響は未知であることからナノマテリアルに係る有害性等の情報収集を行うことを目的とする。また、ナノマテリアルの作業環境中における挙動等を明らかにする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①ナノマテリアルの吸入による長期がん原性試験の予備試験を行うための試験装置の改造及び性能確認試験の実施 ②長期がん原性試験の濃度設定のための予備試験の実施 ③遺伝毒性試験によるナノマテリアルに係る有害性等の情報収集 ④ナノマテリアルの有害性調査に関するOECD等の国際会議への出席 ⑤ナノマテリアルの作業環境中における測定・評価及びナノマテリアルのばく露防止対策等について国内外の情報収集						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	402	179	111	302	173
		補正予算					
		繰越し等					
	計	402	179	111	302	173	
	執行額	386	159	110			
執行率(%)	96%	89%	99%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	平成24年度以降に実施予定の長期の吸入ばく露試験を行うための予備試験の実施中であるため、アウトカムを設定することができない。		成果実績				
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	長期発がん性試験方法の確立のため、ナノマテリアル吸入ばく露装置の改造及び予備試験を行う。 (平成21年度は吸入ばく露装置1基の試作及び代表的ナノマテリアル1物質を用いた性能確認試験を実施したものであり平成22年度と実施内容が異なるため、同等に評価できない。		活動実績 (当初見込み)		ナノマテリアル吸入ばく露装置の改造及び予備試験(2週間ばく露試験)を実施した	(ナノマテリアル吸入ばく露装置予備試験(13週間)を実施する)	(ナノマテリアル吸入ばく露装置長期試験(2年間のうちの1年間)を実施する)
					(目標達成)	(目標達成)	
単位当たりコスト	-		算出根拠	単一物質の試験であり、「単位」に分割できない。			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	事業費	285.0	165	初年度である平成24年度に実施した初期設備投資の減少等			
	消費税	15.0	8				
計	300	173					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	ナノマテリアルは新たなものが次々と開発されており、その安全性については国内外を問わず関心が高く、優先度が高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	安衛法では、国自ら化学物質の有害性調査を実施するよう努めることが規定されている。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	調査研究等に必要な特定の設備又は特定の技術等を有する者が一しかないため、公募を行った。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	-
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	労働者の健康障害防止のための事業であり、事業者が負担する労災保険から経費を負担するため、妥当。
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	マウス及びラットの吸入試験のための費用である。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	がん原性を推測する手法はあるが、確定的に調べるには実験動物による試験しかない。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	この事業で開発した試験手法は、OECDのナノマテリアルに関する会合で発表するなどその活用を行っている。
点検結果	目標は達成され、ナノマテリアルの安全性に関しては、国内外からの関心が高いため、引き続き事業を実施すべきと考える		
予算監視・効率化チームの所見			
			-
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
			-
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	650 - 53	平成23年行政事業レビュー	961

※平成23年度実績を記入

ナノマテリアルの有害性等調査事業

厚生労働省
(111百万円)

〔事業管理、受託者への指導〕

↓
【公募】

A. 中央労働災害防止協会
(111百万円)

〔
・ナノマテリアルの吸入による
長期がん原性試験の予備試
験を行うための試験装置の改
造及び性能確認試験の実施
・長期がん原性試験の濃度設
〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

中央労働災害防止協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他の事業	吸入試験の経費	84			
委託業務管理費	人件費	19			
消費税		5			
諸謝金	専門家への謝金	1			
旅費	専門家への旅費	2			
計		111	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中央労働災害防止協会	マウス及びラットの吸入試験	111	1	100
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					